

セメントボードを使ってみて

北国型モデルハウス “木の家” で

山岸 宏一

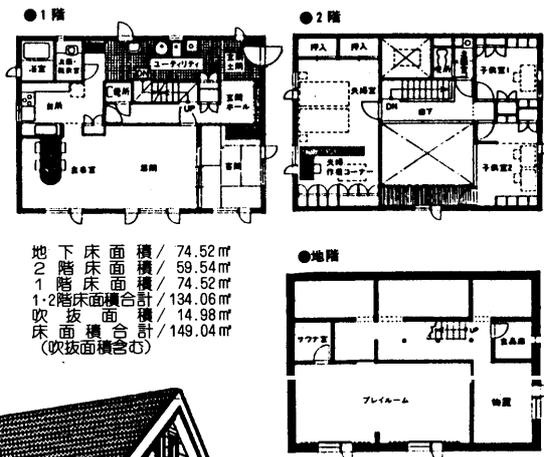
今年8月、札幌市豊平区の北海道マイホームセンターに、道産材を全面的に使った「北国型モデルハウス」がお目見えしました。

これは北海道営林局の委託を受けて、北海道木質材料需要拡大協議会（松原東一郎会長）が実施したものであります。北海道の大変厳しい気候風土のなかで、人間性あふれる住まいを道民に供給するということと木材の良さを知ってもらうために、モデルハウスを建設し、ここに道産材をふんだんに用い、かつ設計、施工と直接結びつけることにより、実際の需要拡大をはかっていこうという趣旨であります。この事業は基本構想、設計と普及、建築施工のグループに分かれ、国、道、大学、市、と道内業界のまさに道内の官民一体となった一大プロジェクトとなったものです。

カラマツ・セメントボードはこのモデルハウスの外装と内装の一部に参加させてもらい、林産試が開発したボードの業界やユーザーへのPRを行

ったものです。図に設計図の平面図を示しました。

モデルハウスは木造の在来構法を基本とし、これに改良を加えたもので、2階建てで地階があります。その間取りは図に示したとおりです。カラマツ・セメントボードは北側の外壁と1階のユーティリティーの内装に使用してもらいました。外装用ボードは二次加工を行い機械メーカーの協力でみぞ加工、相欠き加工をしてもらいました。



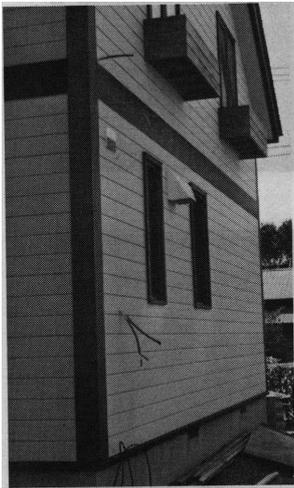
\*イラストにつき実際とは、多少異なる場合がございます。

セメントボードを使って

内装に用いるものは、ボードの表面の角を面取りし45×45cmに裁断して使ってもらいました。外装用ボードは幅45cmで約16cm間隔の二本のみぞを入れ、ボードのあわせ目が二本のみぞと同じ形状になるように設計されていました。林産試験場の

ボードの製造サイズが3尺×6尺なので、長さは182cmです。下地塗装は溶剤系アクリル樹脂で塗装してあります。

以下、施工から完成までの工程を写真で紹介します。



外装用ボードの施工

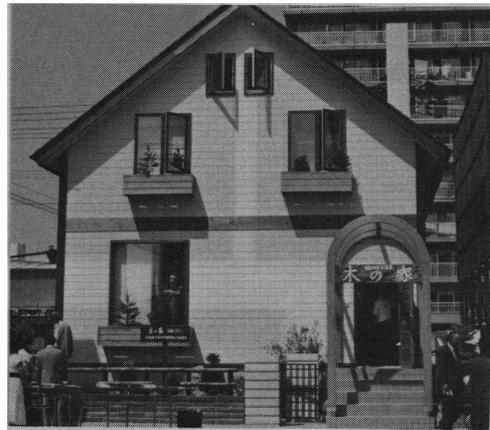


目地部分

セメントボードを使って



カラマツ・セメントボードの内装施工



”木の家”の完成

(林産試験場 改良木材料)